

害獣対策の活動

4月から有害鳥獣の捕獲・駆除や地域住民の獣害相談などを行なっています。また近隣のかたの農地で野菜を育て、そこを囲うように私が考案したニホンジカ・イノシシ・ハクビシン・アライグマに対応した電気複合柵を設置し、その防獣効果をカメラで観察・記録しています。今後は「ケモノ通信(仮)」を発行し、皆さんにさまざまな獣害に関することをお伝えしていきたいと思っています。



宇田川 翔

今後の参加予定

- 10月25日(土) 皆野高校文化祭
- 10月26日(日) ふれあいまつり
- 11月2日(日) 皆野横丁



沼子 静煌



まんげつ食堂

リルの家を初めて訪れた時、誰でも歓迎するようなおらかなさを感じ、一目で気に入りました。そして、どなたでもご利用いただける「地域食堂」として今年4月から始めました。おかげさまで、小さなお子様から高齢のかたまでお越しいただいています。メインは「大衆焼き肉ホルモンがしま」さんのご協力で作っていただき、副菜はボランティアの皆さんでアイデアを出し合います。プロの味と野菜が多いおかずは大変好評です。大切な家族に作るような気持ちで、調味料にこだわり加工食品はなるべく使用しません。20人も入るといっぱいの会場ですが、たくさんのかたにご利用いただきたいです。お気軽にお越しください。

3/5

皆野高校 60年を振り返る

皆野高校は令和8年3月で閉校舎となり、4月からは秩父高校と統合して歴史をつないでいきます。そこで、5回にわたり皆野高校60年の歩みを振り返ります。

独立校 皆野高校としての歩み

昭和41年4月に皆野分校として開校、2年目末の昭和43年3月に組合立皆野高校として独立、昭和44年3月に県立皆野高校となりました。

秩父東高校・皆野高校両校の県立移管に向けては、当時のPTAや地域から県への働きかけは凄まじいものがありました。例えば、2校同時の県立移管に向けた陳情行動として「むしろ旗」を集め、昭和42年夏の埼玉国体会場でむしろ旗を掲げて訴える計画を立てました。こうした根強い県立移管運動により、両高校とも2年11か月で県立移管を成し遂げました。

昭和44年4月(開校4年目)、県立皆野高校は男子校から男女共学校となりました。

校地は3候補地(①現在の皆野町役場②美の山南山麓③親鼻駅前小倉山)の中から③に一度は決定しましたが、地質調査の結果、建設するには適さない地質という判断が下され白紙撤回となりました。その後、何回もの会議を重ねた結果、現在地の荒川左岸、大洲の丘(上段)の畑地を最終候補地と定められました。このような経緯で新校舎の建築着工は大幅に遅れましたが、昭和



写真・左側の校舎と通路のみでスタート。
右側の校舎(産振棟)完成直後に撮影(昭和47年撮影)

※これ以前の校舎全体の写真、校舎建築前のこの地域(畑)の写真を探しています。ご提供をお願いします。

寄稿 皆野高校校長 浅見和義

45年8月20日、鉄筋4階建て、国神の大洲上敷の高台に厳然と立ち、荒川の瀬の清き地に堂々たる校舎、秩父盆地を見渡す県内唯一の景観を誇る校舎が誕生しました。
新校舎移転は町ぐるみで行われました。町の商店から段ボールを大量に寄附してもらい、町民からのトラック提供、自家用車も含めて総動員でピストン輸送し、荷物を新校舎へ運搬奉仕していただきました。そして10月26日、来賓百余名を招いて校舎移転報告会を開催しました。
当時、桑畑や蒟蒻畑などの畑であったこの土地に学校が誕生すると、多くの若者が朝日を背に坂道を登ってきて、1日の授業や部活動を終えると、夕日に輝く荒川と美の山を眺めながら下校していききました。皆野高校の草創期、昭和41年度から45年度の開校当初5年間、このように皆野町の皆さんの多大なご尽力によりスタートしました。